

2026 年 10 月 5 日

各位

会社名 株式会社中央倉庫
代表者名 代表取締役社長執行役員 谷奥 秀実
(コード番号 9319 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員
企画管理本部長 吉田 宏二
TEL 075-313-6151

株式の一部取得（子会社化）に関するお知らせ

当社は、本日開催の当社取締役会において、タカラ物流システム株式会社の一部株式を宝ホールディングス株式会社より取得して子会社化することを決議し、同日付でこれに係る株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 株式一部取得の理由

当社グループは、物流を取り巻く事業環境が大きく変化する中、第8次中期経営計画「NEXT CS-100」において、『成長分野への絶え間ない挑戦による新たな収益モデルの構築』を重要戦略として掲げております。なかでも食品・飲料物流分野は中長期的な成長が期待される市場であり、当社グループの将来の成長を牽引する戦略領域と位置付けております。

タカラ物流システム株式会社は、酒類や調味料等の分野において高いブランド力と強固な販路基盤を有する宝ホールディングス株式会社グループ傘下で継続的な事業運営を通じて全国配送ネットワークを構築し難易度の高い酒類特有の配送ノウハウを有する企業です。

タカラ物流システム株式会社が保有する日本全国に商品を届ける強固な配送ネットワーク基盤と、少量多品種の酒類・食品を高効率で取り扱うオペレーション力は、当社グループが成長戦略の中核に据える食品・飲料物流事業との親和性が極めて高いものと考えております。両社の物流機能および経営資源を融合することにより、サービス提供エリアの拡大、高付加価値物流サービスの展開、顧客基盤の拡充を実現し、新たな収益機会の創出を加速させてまいります。本件は、当社グループの成長戦略を具現化する重要な投資であり、食品・飲料物流市場における企業規模の拡大と収益基盤の強化を通じて、将来にわたる持続的な成長と企業価値の最大化を実現するものと考えております。

2. 子会社となる会社の概要

(1) 名	称	タカラ物流システム株式会社
-------	---	---------------

(2) 所 在 地	京都府京田辺市大住浜 55 番地 13		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 谷口 博樹		
(4) 設 立 年 月 日	1944 年 4 月 27 日		
(5) 事 業 内 容	輸送事業、倉庫事業、流通加工事業、通販物流・販促品物流事業、損害保険事業、リース事業		
(6) 資 本 金	50 百万円		
(7) 発 行 済 株 式 総 数	1,000,000 株		
(8) 大株主及び持株比率	宝ホールディングス株式会社（100%）		
(9) 当 社 と の 関 係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	当該会社と営業取引があります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(10) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決 算 期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期	2026 年 3 月期
連 結 純 資 産	2,057 百万円	2,076 百万円	2,550 百万円
連 結 総 資 産	3,413 百万円	3,408 百万円	4,249 百万円
1 株当たり連結純資産	2,057 円	2,076 円	2,550 円
連 結 売 上 高	13,121 百万円	12,560 百万円	12,649 百万円
連 結 営 業 利 益	553 百万円	587 百万円	676 百万円
連 結 経 常 利 益	574 百万円	608 百万円	698 百万円
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	375 百万円	394 百万円	869 百万円
1 株当たり連結当期純利益	375 円	394 円	869 円
1 株 当 たり 配 当 金	376 円	395 円	869 円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名 称	宝ホールディングス株式会社
(2) 所 在 地	京都府京都市下京区四条通烏丸東入長刀鉾町 20 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 木村 睦
(4) 事 業 内 容	持株会社（酒類、調味料、原料用アルコールの製造・販売、酒類・調味料の輸出販売、試薬・機器などの開発製造・販売、受託、遺伝子医療等）
(5) 資 本 金	13,226 百万円
(6) 設 立 年 月 日	1925 年 9 月 6 日

(7) 純 資 産	310,937 百万円 ※2026 年 3 月期	
(8) 総 資 産	513,801 百万円 ※2026 年 3 月期	
(9) 大株主及び持株比率 ※2026 年 3 月 31 日現在	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	10.25%
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505010 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	9.07%
	株式会社みずほ銀行	4.99%
	農林中央金庫	4.43%
	VALUEACT JAPAN MASTER FUND,L.P. (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	3.11%
	明治安田生命保険相互会社	2.78%
	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2.77%
	株式会社京都銀行	2.59%
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510311 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2.54%
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 510312 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	2.49%
(10) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は、本日現在、当該会社の普通株式 634,000 株 (当社所有割合 : 0.32%) を保有しております。また、当該会社は、本日現在、当社の普通株式 164,350 株 (当該会社保有割合 0.86%) を保有しております。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	ー 株 (議決権の数 : ー 個) (所有割合 : ー %)
---------------	--------------------------------------

(2) 取 得 株 式 数	700,000 株 (議決権の数： 700,000 個)
(3) 取 得 価 額	合計 (概算額) 6,115 百万円 (内訳) タカラ物流システム株式会社の普通株式 5,985 百万円※ その他費用等
(4) 異動後の所有株式数	700,000 株 (議決権の数： 700,000 個) (所有割合 : 70 %)

※最終的な取得価額は、本株式譲渡契約に定める価格調整条項に基づく価格調整を実施した金額となる予定です。

5. 日程

(1) 株式譲渡契約に係る取締役会決議日	2026 年 10 月 5 日
(2) 株 式 譲 渡 契 約 書 締 結 日	2026 年 10 月 5 日
(3) 株 式 譲 渡 実 行 日	2027 年 4 月 1 日 (予定)

※上記日程は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律 (独占禁止法) に基づく届出にかかる公正取引委員会による審査の完了を前提としております。

6. 今後の見通し

本件株式一部取得により、2027 年 3 月期の連結業績予想の変更はございません。なお、来期以降の連結業績に与える影響については現在精査中であり、開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以上

株式の一部取得について

会社概要及び子会社化の目的

会社概要

会社名	タカラ物流システム株式会社
所在	京都府京田辺市大住浜55番地13
代表者	代表取締役社長 谷口博樹
株主	宝ホールディングス株式会社（100%）
資本金	50百万円
事業内容	輸送事業、倉庫事業、流通加工事業、通販物流・販促品物流事業、損害保険事業、リース事業

子会社化の目的

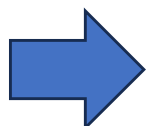
【タカラ物流システム株式会社】

- ・高いブランド力と強固な販路基盤を有する宝ホールディングス株式会社グループ傘下
- ・全国配送ネットワークを構築
- ・難易度の高い酒類特有の配送ノウハウ



【当社】

第8次中期経営計画における『成長分野への絶え間ない挑戦による新たな収益モデルの構築』として食品・飲料物流分野を戦略領域の一つと位置付けて施策を展開



- 当社グループの成長に向けた強化事業領域への参画
- 輸配送ネットワークの更なる拡充

ねらいと今後の展開

●強化事業領域としての食品物流等への幅広い展開

酒類や調味料等の分野において高いブランド力と強固な販路基盤を有する宝ホールディングス株式会社グループ傘下で築いた全国配送ネットワークと優れた配送ノウハウを、当社の持つナレッジ・アセット等を有機的に結び付け、食品業界・流通業界への参画が可能

→相互補完により、新たなサービスの提供を幅広く展開

●倉庫の効率的な運用や営業ノウハウと掛け合わせた新たなソリューション

酒類や調味料等の配送はもちろんのこと、当社グループが持つ倉庫の効率的な運用や営業情報の共有・提案営業ノウハウを結集し、温度管理物流を含むこれまで取扱いのなかった分野の取扱量拡大に寄与

あわせて、流通加工に関するノウハウの共有により、高付加価値化と新たな顧客獲得機会の創出

→高度な物流ソリューションによる新規領域の開拓

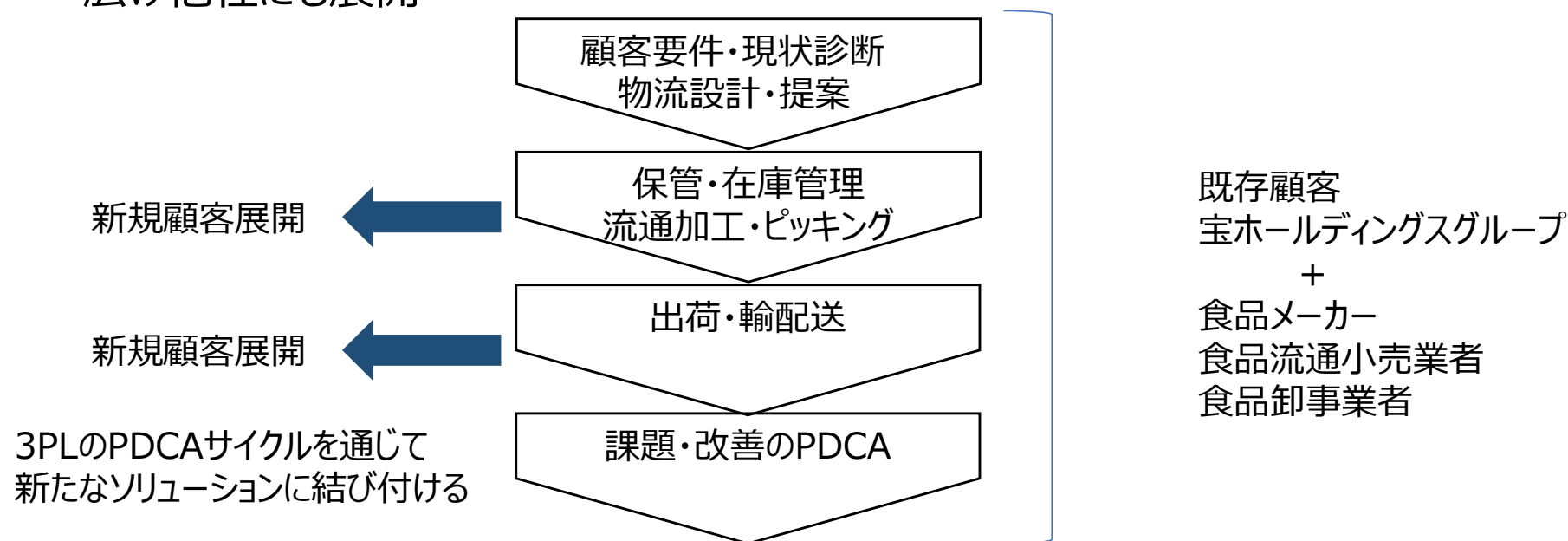
対象会社子会社化の目的と想定されるシナジー

●各機能ごとの食品物流等新規顧客開拓の強化

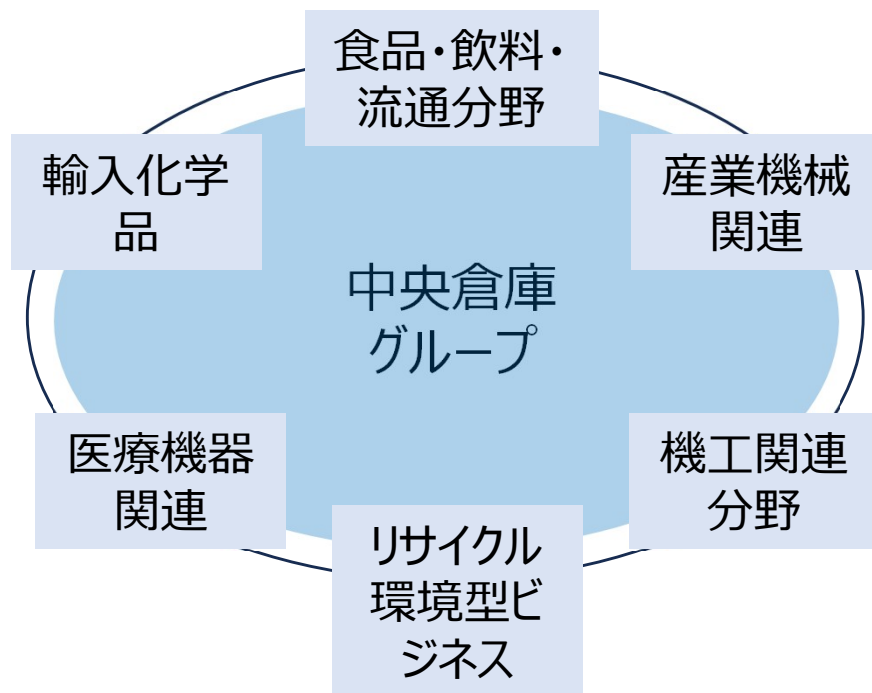
保管、流通加工、輸配送の新しい選択肢をお客様に提示

●トータルサービスとしての新たなソリューション

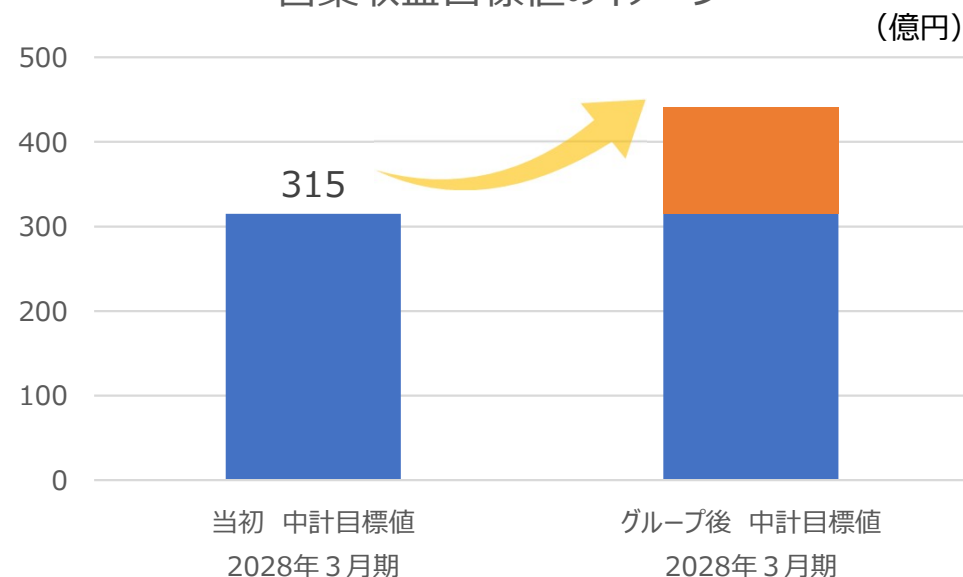
これまで宝ホールディングス株式会社グループに提供してきた3PLとしてのサービスをこれからも宝ホールディングス株式会社グループの物流業務を維持しつつ、裾野を広げ他社にも展開



新たな総合物流企業としての挑戦



当社グループ入り後の第8次中期経営計画
営業収益目標値のイメージ



※本イメージは予定どおり2027年4月1日に株式譲渡が実行されることを前提としております

多様な荷主ニーズへの対応力強化、国内外ネットワークの拡充、グループ組織力を柱に、サプライチェーンを支えるプロフェッショナルとして、グループ一体となって、将来にわたる中長期的な収益基盤の強化と持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。